

電気通信大学 平成18年度シラバス

授業科目名	表象文化論		
英文授業科目名	Theory and analysis of Image cultures		
開講年度	2006年度	開講年次	3、4年次
開講学期	6、8学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	総合文化科目-上級科目-テーマ別セミナー		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	三浦 清美		
居室	東1-508		

公開E-Mail	授業関連Webページ
miura@bunka.uec.ac.jp	

【主題および達成目標】
<p>東方正教会（ギリシア、ブルガリア、セルビア、ロシア、グルジア、アルメニアなど）の美術について、史料、映像資料を通じて学ぶ。東方正教会世界はイスラム世界とも接し、キリスト教という文化的根元を西欧世界とは共有するものの、それとは異なる世界観的史的展開をたどった。中世、ルネサンスを通じて西欧のキリスト教が独自の変容を遂げていったのに対し、東方正教会は、初期キリスト教の姿をカトリックよりはるかに忠実にとどめることになった。西欧、イスラムの美術との比較なども通して東方正教会美術に触れ、それを通じ、一神教的な世界把握の特徴を把握し、一神教に還元され得ない人間社会の多神教的基盤とは何かを考える。あわせて、思考とイメージの関係について考える。</p>

【前もって履修しておくべき科目】
特になし。

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
特になし。

【教科書等】
<p>【参考書】 岩波 世界の美術 『初期キリスト教美術、ビザンティン美術』 岩波書店</p> <p>マルセル・パコ 『キリスト教図像学』 文庫クセジュ</p>

電気通信大学 平成18年度シラバス

ミシェル・カプラン『黄金のビザンティン帝国』創元社

Vi-XX , ., 2002 (翻訳書がないので適宜翻訳を配布する)

教科書としては、随時印刷物を配布する。

【授業内容とその進め方】

- 第1回 ガイダンス 東方正教会の美術とは
- 第2回 初期キリスト教と画像
- 第3回 ラヴェンナと世界支配者としてのローマ皇帝
- 第4回 ビザンツ帝国と芸術(映像資料)
- 第5回 偶像崇拜の禁止と聖画像
- 第6回 イコノクラスムの克服(映像資料)
- 第7回 ビザンツ後期のイコン芸術
- 第8回 ビザンツ帝国の衰退とスラヴ諸民族の勃興
- 第9回 ギリシア、スラヴ以外の正教会イコン芸術
- 第10回 ビザンツ帝国の滅亡とロシアの勃興
- 第11回 ロシアにおける正教会美術の隆盛とルネサンス
- 第12回 アンドレイ・ルブリョフに見られるイコン芸術の再生
- 第13回 新しい伝統としてのイコン

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

平常点と学期末のレポート。レポートは、自らの考えが的確な日本語で表現されているか否かを評価のポイントとする。

電気通信大学 平成18年度シラバス

【オフィスアワー：授業相談】

適宜相談に応じるが、電話、電子メールなどで事前にアポイントを取ること。

火曜日 12:00～14:00 は在室する予定。

【学生へのメッセージ】

出席を重視します。みなさんの専門分野とはかけ離れた世界の話をすると思いますが、別の世界に触れて思考の柔軟性を養ってください。こちら、できるだけ予備知識なしで理解できるような授業の構成を工夫します。

【その他】